

# Memo Pad



# アジェンダ

◆ MemoPad 配列 繰り返し処理 localStorage MemoPad 演習

## 配列 - Array -

#### 【配列 (array)】

複数の値に順番をつけてまとめて扱う方法です。 配列の順番を識別する番号を「インデックス」と呼びます。 インデックスは「O」から始まります。

```
<script>
    const list1 = ['大吉','中吉','小吉',' 吉' ,' 凶'];
    const list2 = new Array('大吉','中吉','小吉',' 吉' ,' 凶');
</script>
```

#### 【 配列のアクセスイメージ (array) 】

インデックス「0」から値が<mark>格納</mark>されます。 list[1]では「css」が取得可能



# 配列を扱う関数

https://qiita.com/takeharu/items/d75f96f81ff83680013f

# 反復処理

#### JavaScriptの基礎

#### 【 **反復処理**(Iterate) 】

プログラム中で、ある条件が満たされているかどうかよって、 次に実行するコードを切り替える命令

#### · for文

条件が真の間だけ処理を続ける"繰り返し処理"

·while文

条件が真の間だけ処理を続ける"繰り返し処理"

· for in文, foreach文

配列/オブジェクトを繰り返す際に使用(あとで覚えましょう!)

#### 【 インクリメント・デクリメント (increment) 】

演算子の短縮したようのなものです。

i++	i += 1	i = i+1	インクリメント
i	1 -= 1	i = i - 1	デクリメント

#### JavaScriptの基礎

#### 【 for 処理 】

for文を使用することで、反復処理をおこなうことができる

```
for(初期値; 条件式; 再初期値){
    条件式の結果がtrueの場合実行されるスクリプト
}
例) for文
for( let i=0; i<10; i++){ //条件: iより10が大きい場合=trueで繰り返す console.log(i); // 変数iに代入されてる値を表示
```

#### 練習:for文

```
//1.変数の入れ物を作成
let str="";
//2.繰返し処理で、文字列を作成
for (let i=0; i<10; i++) {
    str += "ループ:" + i + "回目<br/>";
}
//3.変数「str」に入ってる文字列を pタグid="view"に表示
$("#view").html( str );
```

## 配列と反復処理の応用

#### 【例)配列と反復処理】

配列と一緒に使用することが多い。

```
//1.配列を作成(必要な分だけ。。。今回は適当数に記述)
const week = ["日","月","火","水","木","金","土"];
//2.変数の入れ物を作成
let str = "";
//3.繰返し処理で、文字列と配列を組み合わせ作成
for ( let i=0; i<week.length; i++ ) {
  str += week[i]+"<br>"; //配列:ar[i]
//4.変数「str」に入ってる文字列を pタグid="view"に表示
$("#view").html(str);
```

## POINT: length を使って配列の長さを取得

#### Selsect Boxをループを使って作成

```
<!- ここにセレクトボックスの値が生成されます -->
<select id="date"></select>
<script>
  //1.変数strを作成: <select開始タグ>
  let str = "":
  //2. <option>タグを○○個作成
   for( let i=1900; i<2022; i++ ) {
       str += "<option>" + i +"</option>";
  //4.変数「str」に入ってる文字列を pタグid="view"に表示
  $("#date").html(str);
</script>
```

## localStorage

#### WebStorage

#### シンプルに使える localStorage

ブラウザ内に永続的にデータを保存するストレージ。

保存は「ドメイン名:ポート番号」の組み合わせ「オリジン」単位で保存されます。(例:http://www.localhost:80) 「オリジン」が同じであればブラウザを閉じた後も再度データにアクセス可能。

※:80はブラウザが自動で付与してるの人間は入力していません。

保存量は「オリジン単位:10M」 保存期間は特になし。

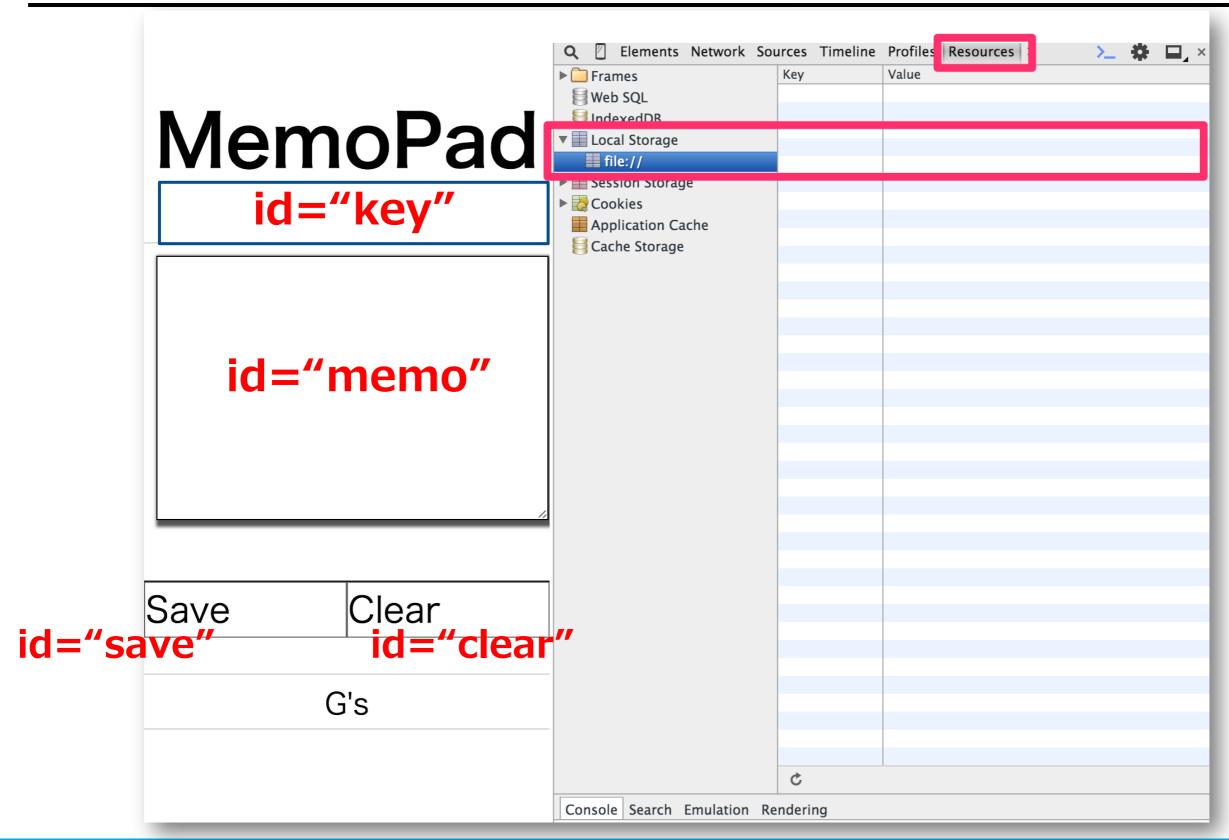
自身の意志で削除しない限りデータは残ります。



#### WebStorage

### シンプルに使える ~ localStorage ~

属性n	説明
DATA取得	localStorage.getItem(KEYネーム);
DATA登録or更新	localStorage.setItem(KEYネーム, 値);
DATAを全削除	localStorage.clear();
1レコード削除	localStorage.removeItem(KEYネーム);
DATA数:データ個数	localStorage.length
DATA取得:0~n	localStorage.key(インデックス)



#### 実習

#### **HTML**

```
<main>
 <input type="text" id="key">
                     ・・・タイトル(key)
 <textarea id="memo"></textarea> · · · メモ(value)
 <l
   Save
                      ・・・データ保存
   Clear
                     ・・・データ削除
 </main>
・・・データー覧表示
 <!-- ここにappendで追加データが挿入される -->
```

```
JS
```

```
//1.Save クリックイベント
$("#save").on("click",function(){
 const key = ("#key").val();
 const value = $("#memo").val();
 localStorage.setItem(key,value);
 //一覧表示に追加
 const html=
''+key+''+value+'';
 $("#list").append(html);
});
```

JS

```
//2.Clear(全削除) クリックイベント
$("#clear").on("click",function(){
localStorage.clear();
$("#list").empty();
});
```

JS

```
for(let i=0; i<localStorage.length; i++){
```

```
//key(何番)でkey名を取得

const key = localStorage.key(i);

const value = localStorage.getItem(key);

//一覧表示

const html = '
'+key+''+value+'
;
$("#list").append(html);
```

## 複数メモ

forの練習

kadai/index2.html



# 課題

## 【課題】MemoPadアプリを再作成

- ◇ 課題仕様 他なんでもあり!!localStorage 使ってれば。
  - 1データ削除(授業では全て削除しか作ってない)
  - ・1データ変更(登録内容を変更)
  - ・ 付箋アプリ。EverNote...とか
  - ・Todoアプリとか
  - じゃんけんの点数を記憶させる(履歴を残す)

G's ACADEM TOKYO